

全国保育実践交流連絡会ニュース

2022 年 10 月発行 関西地区

今年度もコロナ禍の中で関西全体での交流保育はできない状態ですが、各ブロックではコロナの状況を見て交流保育や学習会を行っています。各年齢部会もブロックで計画を立てて行っています。しかし、中止や延期など、なかなか難しい状況です。年長部会は公開保育はできませんが関西地区全体で集まって交流することが出来ました。

関西地区年長部会

2022 年 9 月 3 日（土） 会場 三国観光ホテル

北陸での関西地域年齢別 5 歳児部会が久しぶりに開催された。認定こども園三国ひかりを会場に行う予定だったが、直前になって園内で園児の感染が判明したことで、急遽三国観光ホテルに会場を移して行われた。関西の各園園長と 5 歳児担任が集まっての部会であったが、残念ながらコロナ禍で 3 園が欠席せざるを得なかった。そんな状況下でしたが、広島から富山県にまたがる広範囲から、園長・5 歳児担任 30 名が福井県坂井市三国町に集まって、久しぶりの顔合わせと各園との情報交換、実践交流ができ、無事に終えることができた。これまで当たり前のよう実践交流会が開かれ、皆が一堂に集まり対面での会が開かれていたが、当たり前にある日常の有難さを改めて感じさせられた。

<参加者からの感想>

* 昼の休憩時間にいろんな園と保育の話がゆっくりできて良かった。対面が難しい時ではあるが、こういう機会は貴重で学びうるものがたくさんあると思った。

* 今回の部会では、制作に関する話が多く出ていました。そこに向かうまでの過程や、その年の子どもたちに合った教材、また飾り方や保存のことまでを考えて、いろいろな配慮、教材研究をされていることを知り、学びになりました。

* 子どものうちの失敗は、そこから学び立ち直ることができる。失敗や挫折の経験を余りして来なかった人は、大人になってから大きな挫折に直面した時に、なかなか立ち直れないかもしれない。子どものうちはいろいろなことに挑戦しうまくいなくても良い。何度も挑戦し、仲間の応援や励ましの中で生活することは、子どもにとって貴重な経験なのだと気付かされた。

中国ブロック 運動会交流合宿

9 月末、3 泊 4 日で、広島県たんぼぼ保育園（年長 22 人）、岡山県もみの木保育園（14 人）、足守もみの木保育園（5 人）、兵庫県くりのみ保育園（14 人）の年長 54 人、裏方を含む保育者 14 人が集い、運動会交流合宿を行いました。給食も、各園の給食職員が来て対応しました。

3 年前までは近畿ブロック（5 ヶ園）と一緒に行っていましたが、それ以降は、コロナ禍で思うように行えずにいました。今回も、各園クラス閉鎖や職員の感染など、直前までどうなるか分からないという状況でしたが、何とか実施することができました。

会場園のもみの木保育園には春にも 1 日交流として集まっていたので、子どもも職員も再会を楽しみに集合しました。改めて園紹介をし、4 つのグループに分かれてリズムや食事、当番などをすることにしました。



リズムは広い園庭を使い、自分の道を見つけて広がること、スピード感を楽しむこと、周りを見て聞いて自分で判断して出ることなどを大切にしながら、楽しみました。障害物も、合宿中も何度も何度も挑戦し、最終日の公開保育の時には、仲間に励まされ、自分のもてる力を最大限発揮する姿に、交流合宿の力を改めて感じることができました。

生活では、『年長合宿時における健康管理マニュアル』も見直し、コロナ対策で、睡眠や入浴は園ごとに行うようにしたり、食事の前の手指の消毒や間隔をとって食事をする、換気などに配慮しました。

最終日は、各園から保護者や職員も観に来てくれ、大勢の仲間の中で育ち合う年長集団の姿を見てもらえたと思います。職員も、交流することで、わが園の保育や子どもの見方、自分自身の子どもへの向かい方など、再確認することができ、学ぶことも多かったです。



北陸地区 2 園交流リズム・獅子吼高原登山

9 月 15 日（木）、16 日（金）

ここ数年交流が出来ずにいましたが、ようやく北陸地区 2 園での交流合宿を行うことが出来ました。

富山・どんぐり山共同保育園 5 名、石川・山中ふたば保育園 17 名、合わせて 22 名の年長さんが、1 日目は山中ふたば保育園で交流リズムをし、2 日目は白山市の獅子吼高原山の登山を体験しました。2 時間近くの登山でしたが、途中でカエルを見ついたり、むかごを見つけて食べたり、と秋の登山を満喫しました。途中、途中で眼下に広がる景色に思わず感嘆の声も上がりました。

下山はゴンドラに乗って。全国のお獅子を展示してある「獅子ワールド」も見学しました。また、宿泊施設は雪合宿で使う予定の「吉野谷セミナーハウス」が貸し切り状態でした。今年度初めて、本当に久しぶりの交流でしたが、子どもたちもすっかり打ち解け仲良く声を掛け合う姿に「やっぱり交流っていいな」と痛感しました。

今後も雪あそび合宿、卒園合宿が出来るといいなと考えています。



近畿 5 ヶ園合同 リズム学習会

9 月 17 日（土） 講師 もみの木保育園園長森田さん

まだまだコロナの対応に追われる中くるみ保育園を会場に、対面参加 3 ヶ園、リモート参加 2 ヶ園でリズム学習会を開催しました。

前半森田さんの生い立ち時代の中で感じた思いや思想、そしてさくらさくらんぼの保育との出会いと学びを語られました。



私たちが戦争放棄をどのように貫いていくのかみんなが幸せをどう力を合わせ築いていくのか、そのことを実現するため人の土台を作る保育がどれほど重要な仕事であるか保育者に温かいエールを送るお話でした。

講演の後、土台のリズムと年長のリズムの実践講義でした。指の先から足の先まで意識し自由な身体と心を獲得していく土台のリズム、その土台の上に舞踊を取り入れた身体も心も弾み解放された年長のリズムをたっぷり 2 時間みんなで体験しました

「翌日筋肉痛もあったがとても気持ち良く動けた」「年長の子たちの気持ちを感じる事が出来た」等若い保育者からの感想多くありました。

また「コロナ禍の中で学習する機会が減りリズムや保育の中で個々のとらえ方の違いや目的が少しずつずれすれ違うこともあるが皆で学び合う時間が大切であることを今回の学習会で再確認した」との感想ありました。

まだまだ厳しい状況はあるけれどみんなで知恵を出し合い学び合いの場を保障していきたいと思います。

